

高齢者の人権 (1)

あなたの身近にひとり暮らしの高齢者がいますか。

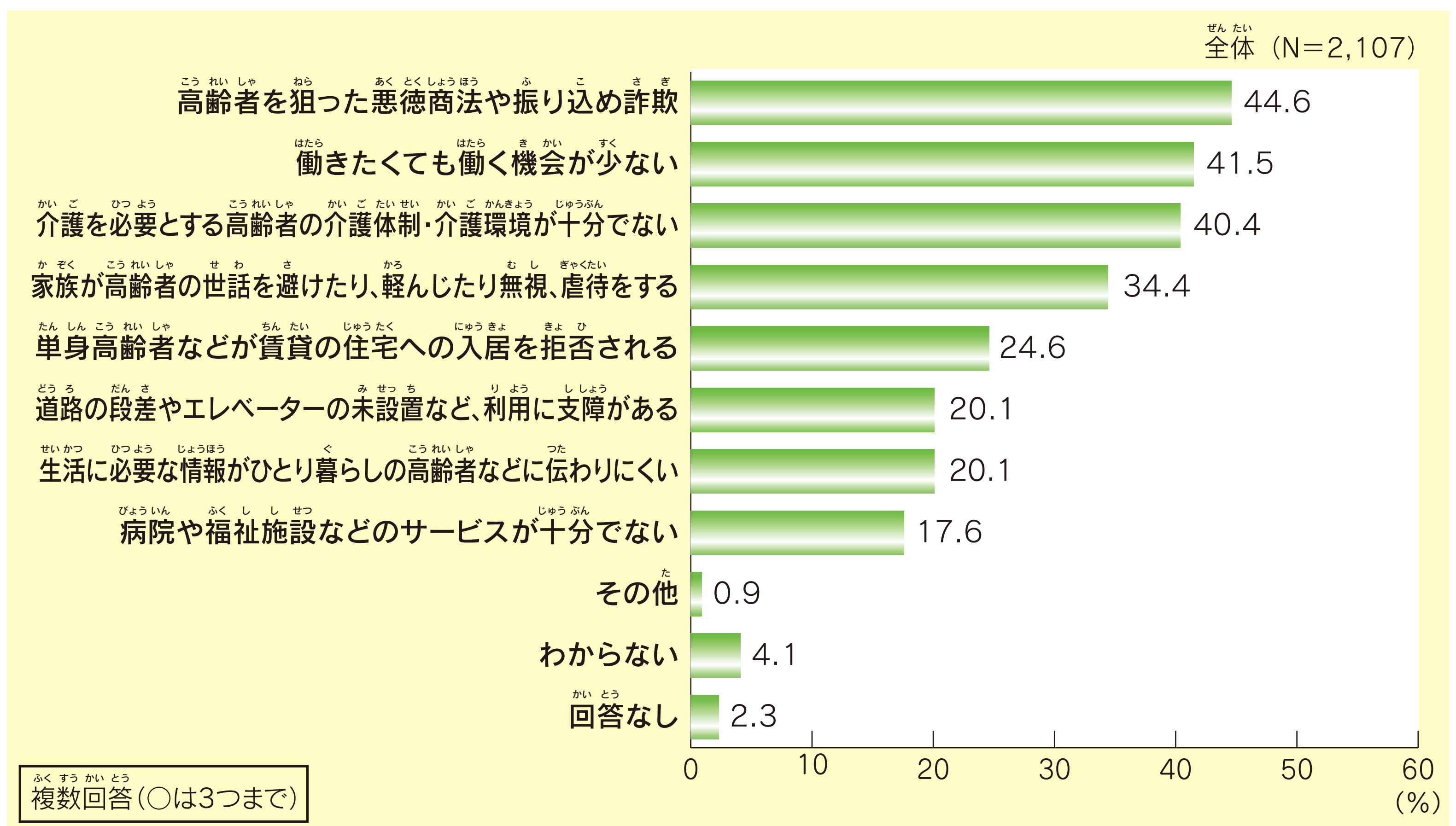
あなたは、年をとってからの生活に不安がありますか。

今、日本は急速に高齢化社会をむかえています。

この機会に「高齢者の人権」について、一緒に考えてみませんか。

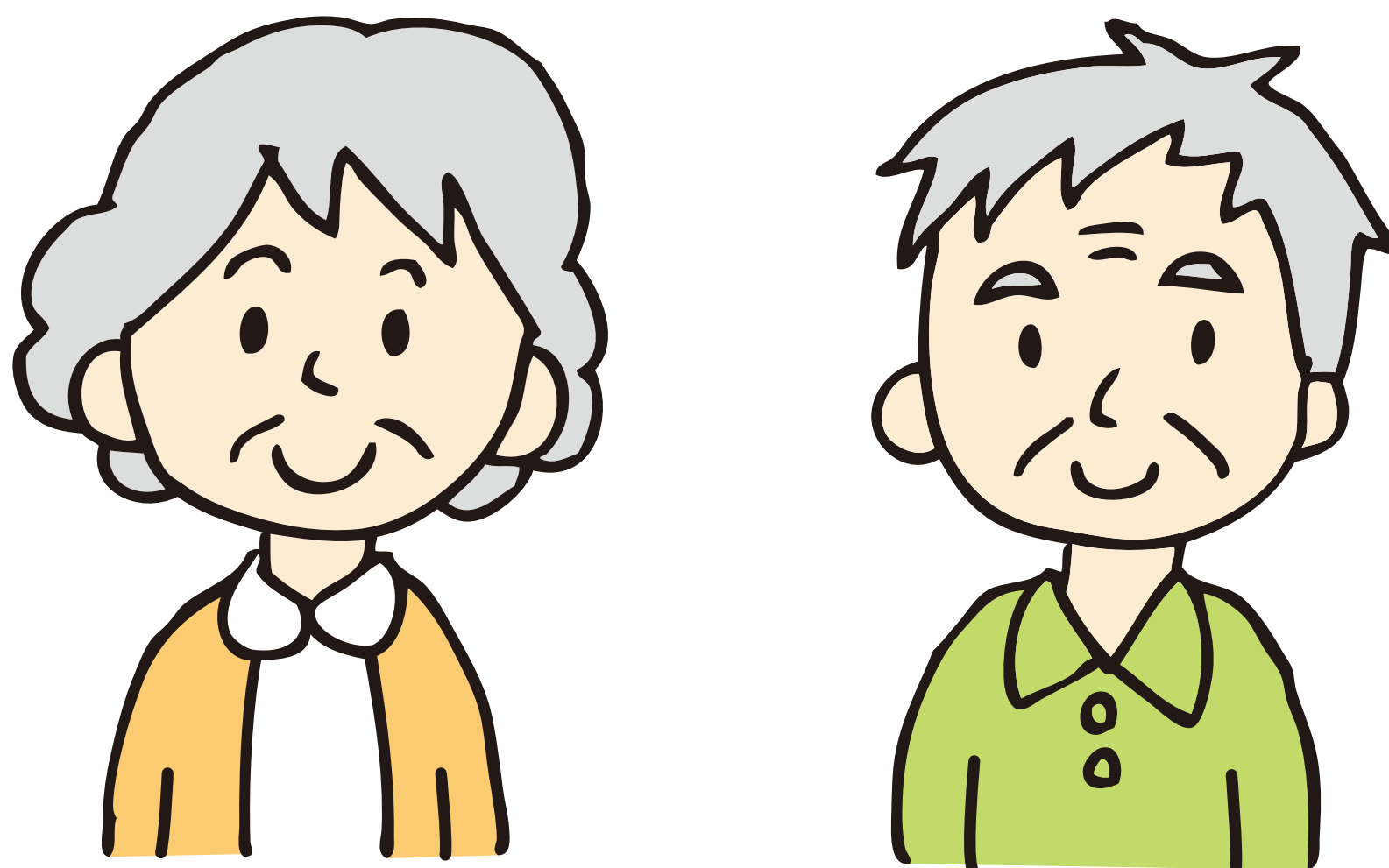
「人権問題に関する県民意識調査」では、高齢者の人権について
次のような結果になりました。

高齢者の人権に関することからで、人権がとくに尊重されて
いないと思うことはどんなことですか？

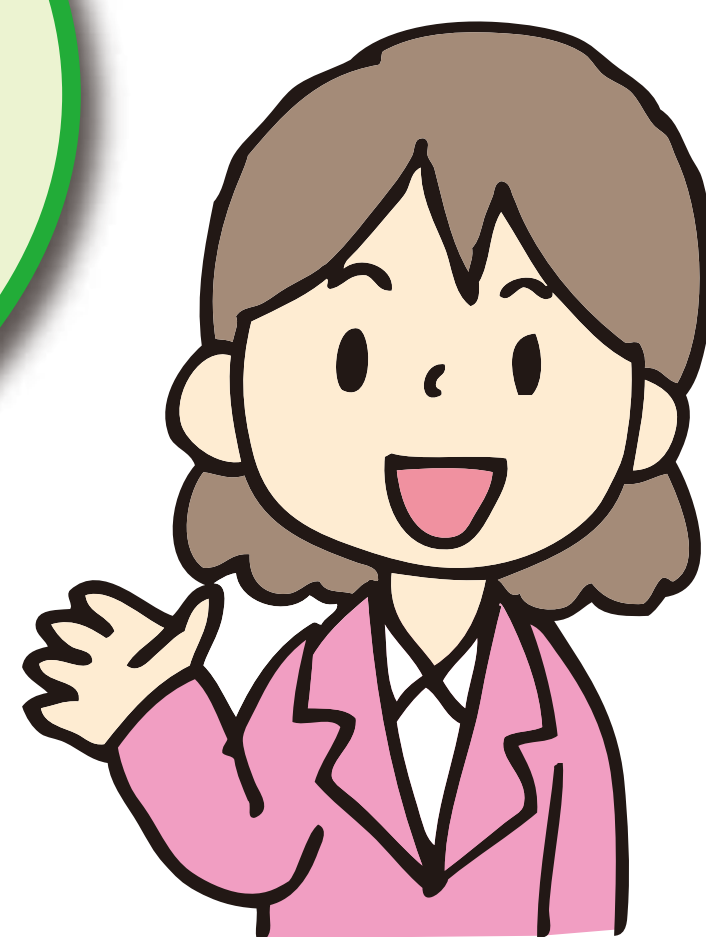


高齢者の人権 (2)

高齢者の人権に関わる問題として、高齢者に対する身体的・精神的な虐待や、その有する財産権の侵害のほか、社会参加の困難性などが指摘されており、高齢者の人権について国民の認識と理解を深めていくことが求められています。



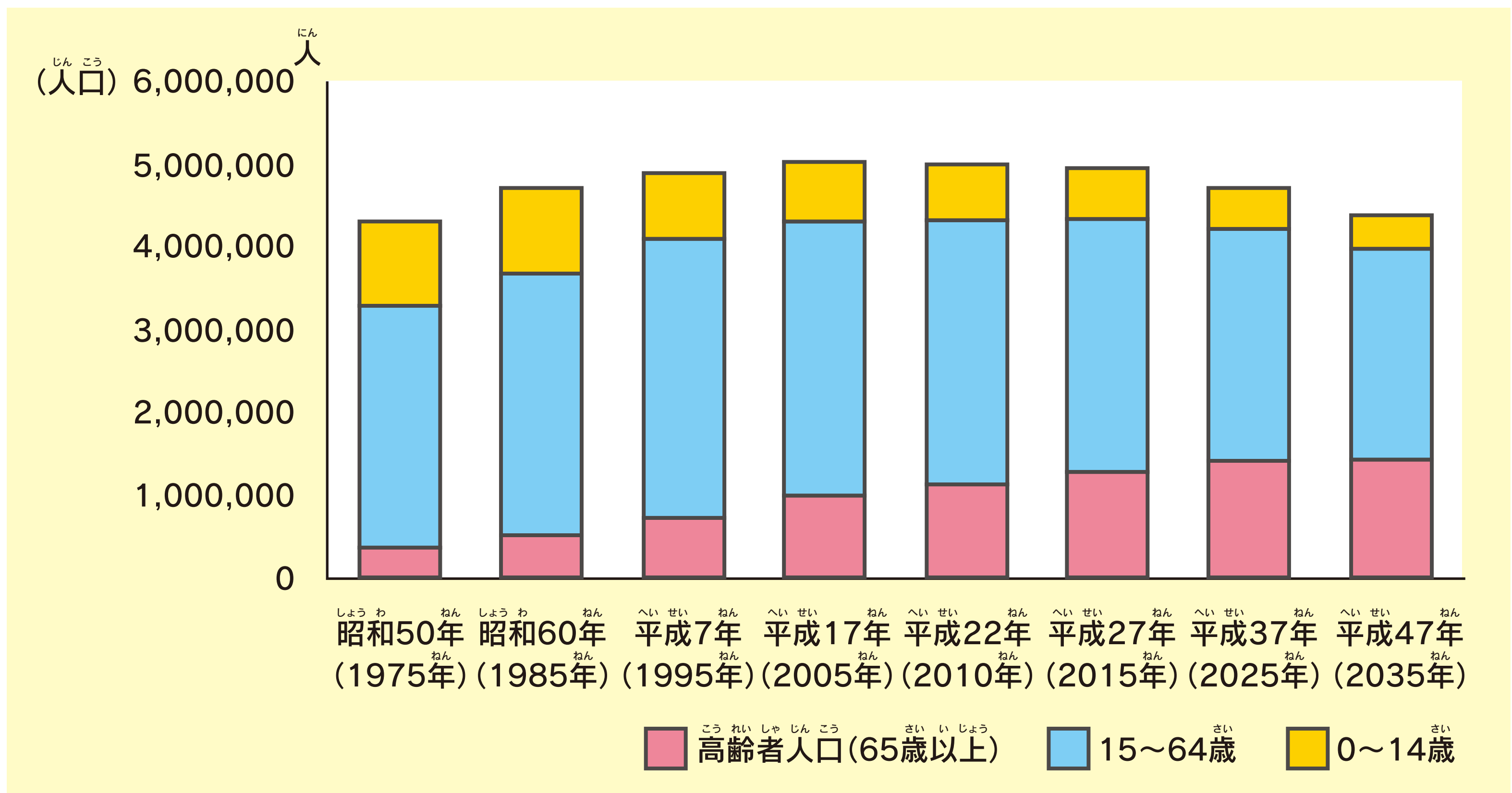
福岡県は、
4～5人に1人が
高齢者(65歳以上)という
社会です。



人口構造の高齢化は極めて急速に進んでいます。
その進展の速度に比べて国民の意識や社会システムの対応は遅れています。

福岡県の高齢者の人口の推移 (3)

福岡県の高齢者人口の推移は、次のようになっています。



出典: 平成22年までは国勢調査、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所の「都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)の数値をもとに作成

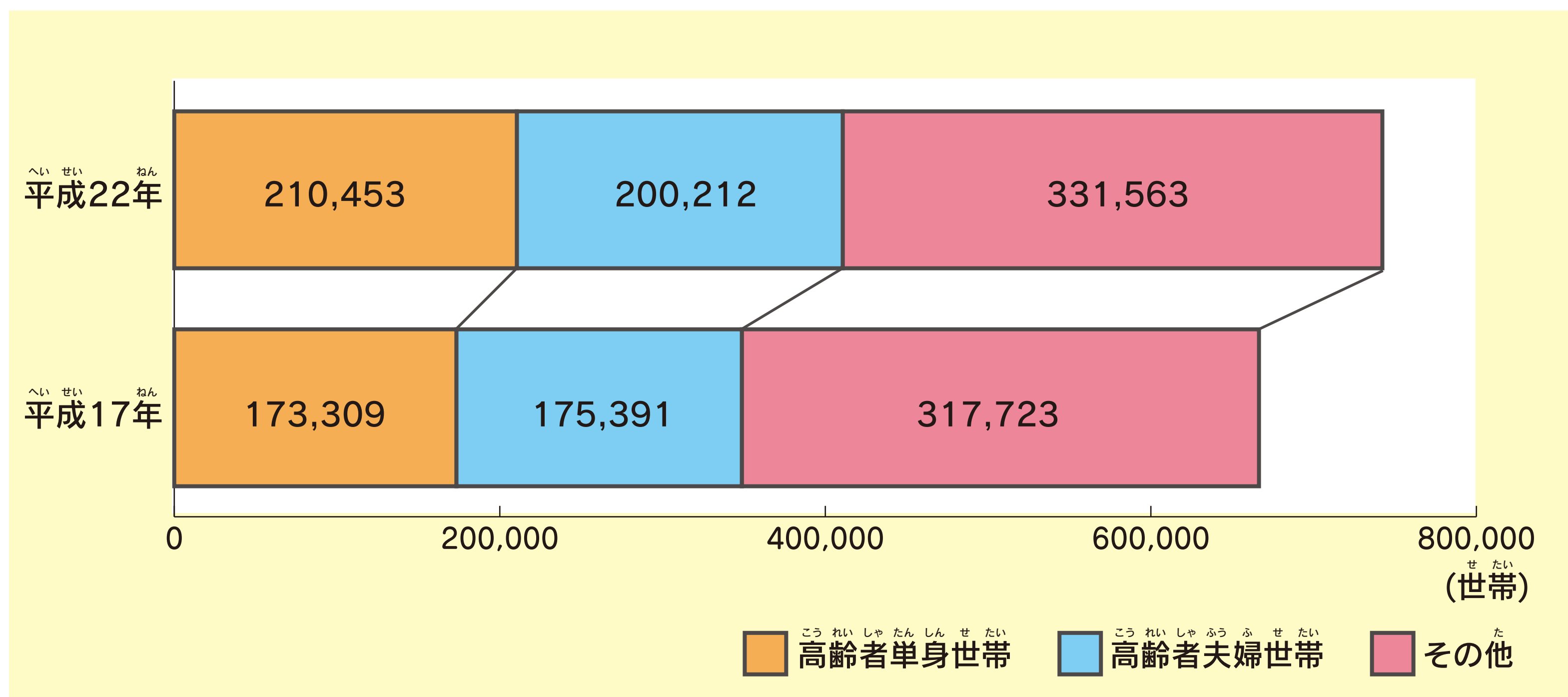
福岡県の高齢者人口は、
平成27(2015)年には、130万人、
平成37(2025)年には、143万人、
平成47(2035)年には、145万人に
なると予想されます。



平成37(2025)年以降は、高齢化率は30%を超えると予想されています。

高齢者の人権 (4)

高齢者のいる世帯の推移



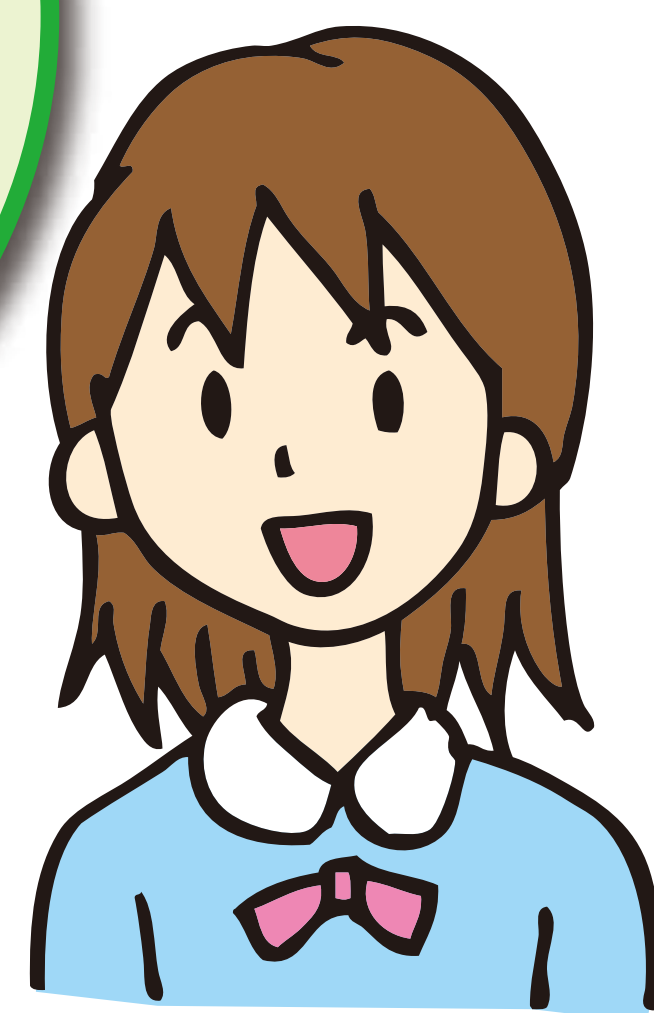
出典：平成22年国勢調査

高齢者の単身世帯、高齢者の夫婦世帯

ともに増えています。

平成17(2005)年と平成22(2010)年を

比較すると、単身世帯は21.4%の増、
夫婦世帯は14.2%の増となっています。



“無縁社会”化しつつあるわが国において、高齢者にとって安全で住みよい社会の実現のため、家族や地域社会の絆づくりに、何ができるかを一人ひとりが真剣に問い直したいものです。

高齢者の人権 (5)

福岡県では、高齢者保健福祉計画を3年ごとに策定して、県や市町村が目指すべき基本的な政策目標と、取り組むべき施策の方針を明らかにしています。

第6次福岡県高齢者保健福祉計画(平成24年度策定)では、「高齢者がいきいきと活躍でき、介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる社会づくり」を基本理念とした施策の方針を明らかにしています。

高齢者の人権分野における主な事業

(1) 高齢者の生きがい対策の推進

ふくおか高齢者はつらつ活動拠点事業

ねんりんスポーツ・文化祭開催事業

(2) サービスを利用しやすい環境づくり

高齢者総合相談センター運営事業

身体拘束廃止推進事業

(3) 地域生活支援体制の整備

民生委員・児童委員研修事業

(4) 認知症高齢者施策の推進

認知症介護研修事業、認知症高齢者地域支援事業

日常生活自立支援事業

